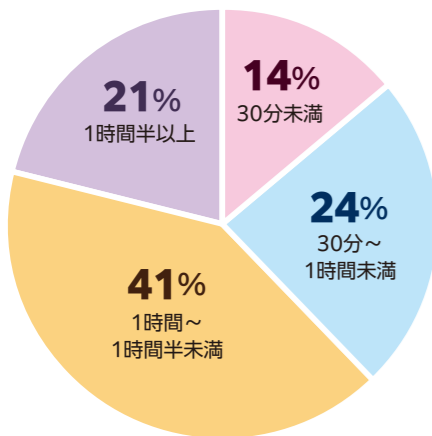
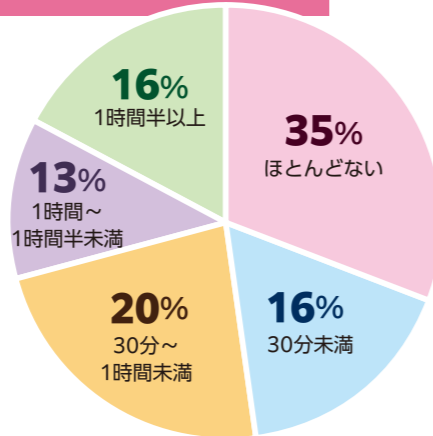


## 若手職員へのQ&A

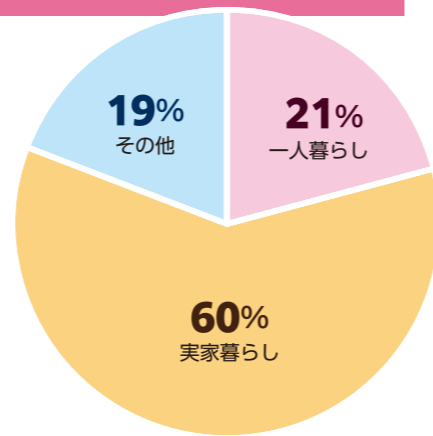
### Q 現在の通勤時間は？



### Q 1日の残業時間の平均は？



### Q 現在は一人暮らし？実家暮らし？



### Q 職場の雰囲気や先輩職員との関係性は？

- 職場は穏やかで、相談しやすい雰囲気です。先輩方は業務の進め方だけでなく、現場での対応のコツなども丁寧に教えてくださるので、安心して仕事に取り組んでいます。
- 歳の近い先輩職員が多く、質問や相談のしやすい雰囲気の職場です。知識や経験の豊富なベテラン職員の方々にもアドバイスを頂けるので、とても助けられています。
- 和気あいあいとしています。休憩中はおしゃべりを楽しみ、業務中はしっかり集中するというふうメリハリがついて居心地がよいです。

### Q 業務を行う上で嬉しかったことは？

- 府民の方から感謝の言葉を言ってもらえた時は、入庁前に想像していたより嬉しく感じ、より良い仕事をしようと思いました。
- 自分でアイデアを出して、考えた事業が実現して、参加してもらった府民の方に喜んでもらったことです。
- 担当の業務が滞りなく完了したことです。

### Q 採用試験の勉強方法は？

- 過去問を勉強しました。分からないところは専門書などを参考にしたり、大阪府の方針なども確認しました。
- 大阪府及び他自治体の過去問を解いたり、公務員対策講義を受講したり、大学の進路指導課での面接練習を受けました。

### Q 受験を考えている皆さんにメッセージを一言

- 公務員の仕事は唯一無二な業務が多く、地元や社会のために不可欠、とてもやりがいのある仕事です。大阪の環境を支えたい・より良くしたい方はぜひ一緒に働きましょう。
- 自分に合った仕事は必ずあります。焦らず、じっくり向き合ってください。公務員の仕事は地道ですが、地域のために働く実感が得られる、やりがいのある仕事です！
- 大阪府では、様々な分野の業務に携わることができ、多様な経験を積むことで柔軟な対応力や新しい視点を養うことができます。皆さまの入庁をお待ちしています！

### Q 入庁前と入庁後のギャップは？

- 公務員は堅いイメージがありましたが、軽装勤務・リモートワークや年次休暇の取得も融通が利き、動きやすさにギャップを感じました。
- 思っていたよりも業務の幅が広がりました。自分の興味のある業務以外にも様々な形で大阪の環境に携わることが出来ます。
- 一日中PCと向き合うようなイメージを持っていましたが、現場に向かう機会がとても多いです。

### Q 就活の失敗談は？

- 面接でかなり緊張したので、もう少し色々な面接を受けて慣れしておけばよかったと思いました。
- できるだけ早くから動くべきでした。自己分析や業界分析など多くの時間をかけて行い、もっと多くのインターンに参加したかったです。
- 面接でうまく受け答えできなかったのが、下調べや準備を徹底することの大切さを感じました。

### Q 仕事とプライベートはどのように両立されていますか？

- 計画的に業務を進めることを心がけています。職場は年次休暇が非常に取りやすい環境が整っているため、仕事の区切りをつけて休暇を取得し、リフレッシュするようにしています。
- 週末は旅行やギター等、趣味に使う時間を決め、メリハリをつけてリフレッシュしています。

## 主な子育て支援制度

※下記特別休暇等の取得にはそれぞれ別途要件・請求手続等があります。

- ✓ **産前・産後休暇** 出産する場合、出産予定日以前8週間以内から出産後8週間までの期間内で取得できます。
- ✓ **配偶者出産休暇** 配偶者の出産にかかる入院等の日から、出産日以後2週間を経過するまでの日に、2日以内で取得できます。
- ✓ **配偶者育児参加休暇** 配偶者の出産予定日前8週間から出産日以後1年経過するまでの期間に、5日以内で取得できます。
- ✓ **育児時間** 生後1年6ヵ月に達しない生児を育てる場合、1日2回（30分と1時間）取得できます。
- ✓ **育児休業** 子が満3歳になるまで休業できます。
- ✓ **育児短時間勤務** 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、短時間勤務ができます。
- ✓ **部分休業** 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、1日につき2時間、又は1時間を単位として10日を超えない範囲のいずれかを選択し、取得できます。
- ✓ **子育て部分休暇** 小学校等の第1学年から第6学年までに在学している子を養育する場合、1日につき2時間、又は1時間を単位として10日を超えない範囲のいずれかを選択し、取得できます。
- ✓ **子の看護等休暇** 中学校就学の始期に達していない子を看護等する場合、1年に5日（2人以上の場合は10日）以内で取得できます。
- ✓ **早出遅出勤務** 一定の要件を満たす場合、勤務時間（7時間45分）はそのまま、子育てのために始業を早くしたり、遅くしたりできます。

## 先輩職員インタビュー



循環型社会推進室  
産業廃棄物指導課  
**柳川** 【環境職】  
入庁年：平成25年度

- Q1** 今までに利用した子育て支援制度は何かありますか？  
**A1** 産前休暇、産後休暇、育児休業、子の看護等休暇、育児部分休業
- Q2** 現在利用している子育て支援制度（現在の勤務形態について）  
**A2** 育児部分休業（16時半から1時間の部分休業を取得しています）、子の看護等休暇
- Q3** 制度利用時の周りの職員の反応はどうか？  
**A3** 16時半に退庁できるように、周囲の方々が協力してくださり、とてもありがたいです。休憩時間等に男女問わず、子育ての話なども気軽に相談できる雰囲気もあり、子育て中の自分自身が職場にとってマイナスな存在ではなく、受け入れられている感覚があり、とても働きやすい環境です。
- Q4** 復帰はスムーズでしたか？  
上司等からのフォローはありましたか？  
**A4** 復帰の日は、また働ける嬉しさ、子育てとの両立への不安など色々な気持ちが入り混じり、緊張して出勤しましたが、周囲の方々が温かく迎えてくださり、とてもありがたかったです。「仕事はフォローしあえる、でも、子どもにとってお母さんは柳川さんだけだから」との言葉をかけてくれた本意に添って、フォローして下さる方々へ甘えすぎることなく、一人で抱え込みすぎることなく、頑張ろうと思いました。
- Q5** 職場復帰後にはどのように仕事を進めていますか？  
**A5** 毎日があっという間に過ぎていきます。保育園のお迎えの時間が決まっており、残業することができないため、いかに効率よく、ミスなく、業務にあたるにはどうすればよいかと、今まで以上に優先順位や、相手へ1回で正しく伝える話し方などを意識するようになりました。



農政室 推進課  
**和田守** 【農学職】  
入庁年：令和5年度

- Q1** 今までに利用した子育て支援制度は何かありますか？  
**A1** 育児休業、育児短時間勤務
- Q2** 現在利用している子育て支援制度（現在の勤務形態について）  
**A2** 時差出勤を利用、8時出勤16時半退勤にして帰宅後に育児参加できるようにしています。
- Q3** 制度利用時の周りの職員の反応はどうか？  
**A3** 周囲には育休を使って当たり前という雰囲気があったので自分としても休暇取得をためらうことはありませんでした。時差出勤についても、周囲の協力のもと私の退勤時間を考慮して出張や打合せを設定していただいております。
- Q4** 復帰はスムーズでしたか？  
上司等からのフォローはありましたか？  
**A4** 年度が変わって4月1日からの復帰となりましたが前年度と同じ職場だったこともありスムーズに復帰できたと思います。年度当初に業務量の調整などを相談しながら進めることができましたし、年度の途中でも、業務分担の見直しをするなど柔軟に対応していただきました。
- Q5** 職場復帰後にはどのように仕事を進めていますか？  
**A5** どうしても急に休みを取らないといけなくなることがあった場合でも、業務をグループ内でカバーしていただけるため、言い出しやすく大変助かっています。また、大阪府として在宅勤務やリモートワークの活用を推進しているので改めて柔軟な働き方ができる職場だなと思いました。